

福井市学校教育目標
 「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」
福井市学校教育方針
 「学びをつなぐ・未来につなげる」
 ～「つながる」を大切にしたい学校づくり～
足羽第一中学校区教育
 「自らの思いをもち、主体的に学び高め合う
 児童・生徒の育成」
 ～校区教職員が協働した授業改善・指導力向上の推進～

令和6年度酒生小学校スクールプラン

【教育目標】	
主体的に学び、協働する子の育成	
【校訓】	【めざす児童像】
正しく 強く 美しく	主体的に考え、正しく判断し行動する子 失敗を恐れず、ねばり強く挑戦する子 美しい心をもち、思いやりのある子

酒生小児童の強み○・弱み▲
 ○素直で明るくて、一生懸命努力する
 ○時間や規則を守る
 ○場に合ったあいさつや返事ができる
 ○やさしく思いやりがあり、男女仲良く協力できる
 ○地域の歴史的遺産を大切にしたいという思いが強い
 ▲指示待ちが多く、自ら学ぶ主体性が弱い
 ▲自己表現が苦手
 ▲多様な考えを出したり広めたりするのが苦手
 ▲自己肯定感が低い

<つながるを大切にしたい学校づくり>
○重点事項
 ・主体的な学びと ICT 活用をつなぐ
 わかる授業づくり
<研究主題>
 「学びが楽しい」と実感する授業づくり
 ～学び方の習得を通して～

【児童に身につけさせたい資質・能力】 主体的に学ぶ力 協働する力 自己肯定力

【めざす学校像】～みんなで笑顔 チーム酒生～
 ・安心感と自己肯定感を向上させるチーム酒生
 ・「学びが楽しい」と実感する授業改善に挑むチーム酒生
 ・家庭・地域から応援してもらえるチーム酒生

【めざす教師像】
 ・ほめるをベースに自己肯定感を高める教師
 ・主体的・協働的な授業を追究する教師
 ・学び方を習得させ、協働する力を育む教師

本校の教育的課題への取り組み
 ①主体的・対話的で深い学びの実現
 ②GIGAスクール構想の実現
 ・ICTの効果的な活用
 ③「午前5時間制」の充実・継続
 ④チーム担任制の活用
 ・協働体制の推進

重点目標	確かな学力の育成 授業改善に挑むチーム酒生	豊かな心の育成 自己肯定感を向上させるチーム酒生	健やかな体の育成 健康増進・体力の向上させるチーム酒生	信頼される学校づくり 地域から応援してもらえるチーム酒生
	①「学びが楽しい」と実感する授業改善 ・「まなびタイム」を活用した基礎・基本の習熟と学び方の習得（聞く・話す・読む・書く等のルーブリックの活用） ・主体的な学び方の習得（習得学習と課題解決学習） ・課題解決学習や総合的な学習を活用した協働的な学び方の習得 ・自分の学びを振り返り、メタ認知と自己肯定感を向上させるルーブリック表の活用 ②授業改善を推進する研究体制づくり ・「わかった、できた、学びが楽しい」という児童の事実を重視した授業研究の推進 ・チーム担任制によるOJTを活用した日々の情報交換と授業力向上の研修体制 ・ティーチングポートフォリオによる学びの蓄積とルーブリックを活用した一人一研究テーマによる授業改善の推進 ・校内研修会・研究会の充実（週1回） ・一中校区教育とリンクした授業改善の情報交換	① 安心感と自己肯定感を向上させる学級づくり ・複数の教員で多角的・多面的に児童を捉え自己肯定感を向上させるチーム連携 ・チーム担任制による協働的な児童理解の充実 ・全教職員で児童を支える細やかな情報交換と支援体制づくり ・児童アンケートを活用したいじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決 ・ロング昼休みを活用した温かい人間関係づくり（縦割り班活動の推進） ② 地域や学校への愛着と誇りの育成 ・総合的な学習を核とした地域に根ざした探求型学習の推進 ・発達段階に応じたキャリア教育の推進 ③ 当たり前のことができる力の育成 ・凡事徹底（あいさつ・返事・後始末） ・協働しながら課題を解決しようとする心の育成	① 健康な生活習慣の定着 ・家庭と連携した基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の定着 ・歯、目、姿勢の日常的な健康を意識させる指導 ・食に関する知識と望ましい食習慣を身につける食育の推進 ・食物アレルギーのある児童への対応強化 ② 運動習慣の定着と体力向上 ・校庭での外遊びの奨励 ・体力づくりを目指した体育授業と学校行事の推進 ③ 危機管理（危機回避）能力の向上 ・登下校指導、交通安全教室、避難訓練等による危機管理（危機回避）能力の育成 ・適正なネット利用や情報モラル育成の指導及び保護者への啓発 ・熱中症、感染症等の対策の徹底	① 学校公開と情報発信 ・授業参観、学校行事、学校だより、ホームページによる積極的な学校公開と情報発信 ・保護者との意思疎通や電話・来校者への誠実な対応 ② 社会に開かれた教育課程の推進 ・地域の素材や人材を活用した教育活動の展開（総合的な学習や地域学習） ・「家庭・地域・学校協議会」での情報交換を生かした学校改善 ③ 関係学校・園や外部機関との連携 ・中学校区連携の推進 ・学びと育ちをつなげる「こども園」との交流、連携充実 ・児相や特教センター等の関連機関の協力を得た気がかりな児童の対応
数値目標	○授業がよくわかる（児童：90%） ○授業に進んで取り組んでいる（児童：90%） ○学び合いの場の確保（教師：90%） ○家庭学習が習慣化している（保護者：80%）	○学校が楽しい（児童：90%） ○いじめを見たらとめたりする（児童：80%） ○あいさつができる習慣（児童：90%） ○児童の良い点を認め習慣化する指導（教師：90%）	○学校は安全面・健康面について適切に指導している（保護者：90%） ○学校は食育や健康な体づくりに力を入れている。（保護者：90%） ○我が子のネット利用の管理（保護者：90%）	○保護者へ適切に学校の情報を伝えている（保護者：90%） ○地域に関する体験活動の取組（教師：90%）

<業務改善のための取組> ・午前5時間制による放課後の効率的活用 ・iPad（Teams）による教師間情報の効率化 ・チーム担任制による協働体制の推進 ・ペーパーレスの推進